学校だより５月号

小さな窓

令和元年　５月　７日（火）
三　鷹　の　森　学　園
三鷹市立高山小学校
校　　長　　吉村　達之

いつも学校ホームページをご覧いただき、ありがとうございます。

朝は元気に“Good morning！”

校長　吉村　達之

長い連休が明けて、元号も「令和元年」となりました。新年度が始まり１か月。新しい学年、新しい環境の中、程度の差こそあれ、子どもたちも緊張のなかで過ごした毎日だったと思います。でも、この長い連休で心も体も休めたようで、連休明けから元気な声が学校に響いています。

さて、連休前のある日のこと、朝、私がバス停から学校に歩いているとき、後ろから“Good morning! ”と大きな声がしました。振り返ると、女の子が二人、ニコッと笑いながら手を振っています。私もすかさず、“Good morning! ”と返しました。とてもうれしい瞬間でした。

私が着任してから、朝の校門のあいさつは、“Good morning! ”とハイタッチで行っています。原則、月・水・金曜日は正門に、火・木曜日は北門に、毎朝立ってあいさつをしていますが、今ではすっかりこのあいさつが定着して、子どもたちのほうから“Good morning! ” と言いながら、手を出してきてくれます。一人一人と笑顔であいさつすることは、私にとっても一日のエネルギーの源になっています。

保護者会でもお話しましたが、急速に変化していくこれからの時代を生きていくため、さらにこれまでとは違った力を子どもたちに付けていく必要があります。それを踏まえて、来年度から小学校で全面実施となる新学習指導要領も、これまでのものとは大きく異なる内容となっています。とりわけ、グローバル化を背景に、いろいろな人と主体的にコミュニケーションをとりながら物事を進めていくことは、これからの時代の主役となる子どもたちに、必須のスキルとなっています。文部科学省が小学校高学年で英語を教科化し、年間７０時間、検定教科書を使って授業をするようにしたことや、卒業後の中学、高校、大学の英語教育も大きく改革されることは、その必要性を考えてのことだと思います。そして三鷹市では、すべての市立小学校で、今年度から、英語に関しては授業時数等を１年前倒しで実施しています。

今、全世界の人口が１００人だとすると、その中で日本語が通じる人はたったの２人です。しかし、事実上、国際公用語になっている英語は、私たちのように第２言語として学ぶ人を含めると半数を占め、５０人と話が通じます。もちろん、言語だけでなく、身振り手振りと熱意があれば、ある程度言いたいことは伝わりますし、最近はAIによる自動翻訳機も高性能化してきています。しかし、仕事であれ、プライベートであれ、相手とコミュニケーションをとり、お互いを理解し、仲良くなったり、信頼を得たりすることは、自分や相手が実際に発する言葉でこそ可能であって、ジェスチャーや翻訳機では真似ができないことだと思います。

今後、本校でも、授業にとどまらず、普段から英語を聞いたり、話したりする「英語の日常化」を図りながら、コミュニケーション力を子どもたちに付ける取り組みを進めていきたいと考えています。

<５月の行事予定>

７日（火）特別時程
（午後木曜時程 14:10 下校）
８日（水）委員会
９日（木）遠足（２年）
１０日（金）遠足（４年）
１３日（月）全校朝会（スクールエンジェルスさんの紹介）
１４日（火）遠足（１年）
１５日（水）耳鼻科検診（全学年）　ＰＴＡ総会
２０日（月）全校朝会
２１日（火）遠足（３年）
２２日（水）たてわり集会　クラブ
２３日（木）遠足（５年）
２４日（金）避難訓練
２７日（月）全校朝会
２９日（水）音楽朝会　クラブ
３０日（木）開校記念日
３１日（金）遠足（わか竹学級）

「５月のめあて」
生活　　基本的な生活習慣を身に付けよう
安全　　不審者侵入時の避難の仕方を身に付けよう
保健　　良い習慣（基本的な生活習慣）を身に付けよう

教務部

学校のコントロール役

教務主任　主幹教諭　沼本　成泰

学校は旅客機と同じで目的地に向かって離陸したら、途中で止まったり、もう一度初めからやり直したりすることはできません。教務は、ある意味で学校という大事な機体を間違いなく目的地に届けるための仕事を担っていると言えます。

旅客機には機体整備、燃料補給、時間調整、航路確認、天気予報の確認など多くの仕事があるように、学校には、遠足や社会科見学、交通安全教室など様々な行事の実施日を決め、調整する仕事があります。運動会や音楽会など、どれ一つとっても、みんなが楽しみにしている大切な行事です。また、今年は三鷹の森学園としての記念行事など大きな特別なイベントも企画されています。

また、児童の出席や転出転入など学籍に関する大事な事務もあります。それらの作業が正確に、迅速に行われる必要があります。

私たち教務は、学校教育活動全般を把握し、調整する「運営進行役」を担っています。

校長をキャプテンとして「安心して子どもを任せることができる学校」を作っていくために、教務部は全力を尽くします。

生活保健部

「さしすせそ」をマナーに

生活保健主任　主幹教諭　関口　佳美

高山小学校の全校朝会は、代表６年生の朝のお話から始まります。９０１名の児童が舞台上の６年生をじっと見つめ、話に集中し、爽やかに「おはようございます！」と挨拶を交わします。この月曜朝会は高山小のよき伝統、自慢できる時間です。吉村校長先生も、とても褒めてくださっています。

このような爽やかな学校生活を送るには、子どもたちが十分に思考し活動できる時間、気持ちよく集中できる場所、安心して自分の思いや考えを語ることのできる人間関係が大切になります。この爽やかな「時間・場所・心」は、全校児童と教職員のみんなで創り、守っていく必要があります。そこで、高山小では「生活の『さしすせそ』をマナーにしよう」と呼びかけています。子どもたちに、自分の心や環境をより良く整える習慣を育てたいと考えます。

さ…爽やかな挨拶と返事　し…静かな廊下
す…素早い集合　せ…せっせと掃除
そ…揃った靴箱

「今日が楽しく　明日が待ち遠しい学校」をつくる　高山小学校　四部会

学習研究部

「言葉の力」は生きる力

学習研究部主任　主任教諭　北川　史朗

高山小学校では、昨年度から朝学習の時間を「ことばの時間」として、子どもの言語能力を育てることを目的として取り組んでいます。今年度は音読詩集を全学年で購入し、活用します。声を出して読むことの楽しさ、言葉の面白さを実感してほしいと思います。詩に使われている技法や効果を感じ取ることで、子どもたち自身の表現力の向上もねらっています。速度やリズム、群読、分担読みなど、様々な読み方をクラスみんなで経験しながら、詩の世界にたっぷり浸ってほしいです。言葉は、人間が人間らしく生きていく上で、最も大切なツールです。ＳＮＳなどの短いメッセージのやり取りが増えていく中で、日本語の持つ美しい表現に小学生時代にたくさん触れることは、その子の人生をきっと彩のあるすてきなものにしてくれると信じています。ご家庭でも話題にしていただけたら嬉しいです。

特別活動部

「たてわり班活動」

特別活動主任　教諭　浅田　航平

特別活動部では、クラブ活動や委員会活動、たてわり班活動を行っています。クラブ活動は４年生以上、委員会活動は５年生以上が対象ですが、たてわり班活動は全学年が一つの班に集まり、活動します。そして、リーダーは先生ではなく、６年生です。

活動時間は１５分という短い時間ですが、６年生はその何倍も時間をかけて計画を練ります。最初はおぼつかない司会だった進行も、回数を重ねるごとに上手になっていきます。そんな６年生の頑張りをまじかに見た５年生や下級生も、自分にできることを見付けて、より良い集団へと成長していきます。

６年生の成長は次の５年生への成長につながります。高学年を成長させることを通して、学校全体が成長していけるよう見ていきます。

～学校からのお知らせ～　「校内安全・セキュリティ強化にともなうご協力のお願い」

昨今の事件の発生を踏まえ、以下のとおり、あらためて安全対策へのご協力をお願いいたします。

① 校内では**必ず名札を着用**するか、受付で名前を台帳に記入し、番号入り**赤い〇バッジを着用**してください。
② 登下校時間帯を除き、正門は施錠、北門も閉めます。出入の際、**必ず通用門を閉める**ようお願いいたします。
③ 自転車は門を入る前に降り、必ず歩いて、自転車を引いて自転車置き場まで移動してください。
④ **学校敷地内は禁煙です。**行事や学校開放時も同様です。違反を見付けたら、学校に通報してください。

子どもたちが楽しく、安心して学校生活を送ることができるよう、どうぞよろしくお願いいたします。